

出展ゾーン

建設

光硬化 ハイレイズ工法

～環境にやさしく 確かな品質～

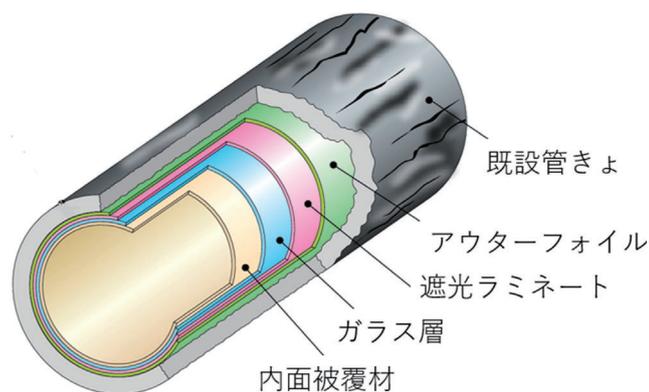
【概要】

ハイレイズ工法は、光硬化の技術を用いて、損傷や腐食した下水道管きよ内部に、非開削でFRPパイプを構築する更生工法です。耐酸性を有するガラス繊維を積層した高強度のガラス基材に、光硬化性樹脂を含浸させた更生材（ハイレイズライナー）をマンホールから既設管きよ内に引き込み、空気圧で拡張して既設管に密着させた後、光照射装置によって所定の時間光照射することで硬化させ、FRPパイプを構築します。

【適用範囲】

- ・管種：鉄筋コンクリート管、陶管、鋼管、鋳鉄管、硬質塩化ビニル管
- ・管径：呼び径200～800（鉄筋コンクリート管、鋼管、鋳鉄管）
呼び径200～600（陶管、硬質塩化ビニル管）
- ・施工延長：100m
- ・段差：30mm以下
- ・隙間：110mm以下
- ・屈曲角：10°以下
- ・滞留水：100mm以下
- ・浸入水：2L/min以下

【材料構成図】



【特長】

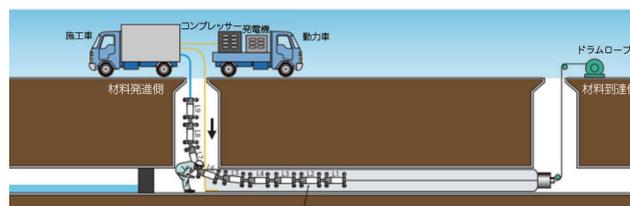
- ①長期曲げ弾性率が16,800MPa以上と**高強度**であり、当協会従来技術のFFT-S工法 Gタイプから最大35%**薄肉化**。
- ②FFT-S工法 Gタイプと比較して、約2～3時間の**硬化時間短縮**が可能（φ200～300延長30m相当の場合は約30分の照射時間で施工が完了となります）。
- ③特定の波長の光で硬化する為、**熱硬化工法に比べて浸入水等による硬化への影響を受けにくい**。
- ④光照射装置に搭載されたカメラで、更生管の内面状態を確認しながらの施工が可能。
- ⑤ハイレイズライナーは温度管理が不要で、**製造後3ヵ月の保管**が可能。
- ⑥FFT-S工法と比較して、**硬化時のCO₂排出量が少なく**、環境にやさしい。

【施工工程】

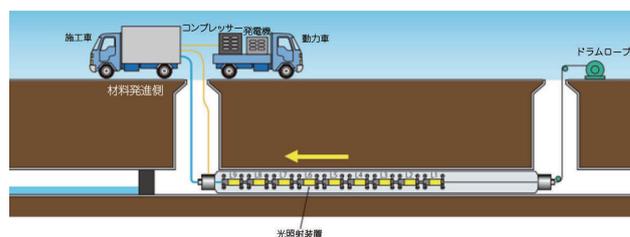
ハイレイズライナーの引込



光照射装置の挿入



ハイレイズライナーの硬化



小間番号

■ 2号館 ■

2-337

【出展者】FFT工法協会

【所在地】〒530-0001 大阪市北区梅田3-1-3 ノースゲートビルディング25F

【連絡先】TEL: 06-6453-7170 Eメール: fftinfo@fft-s.gr.jp

担当部署: 大阪事務局